



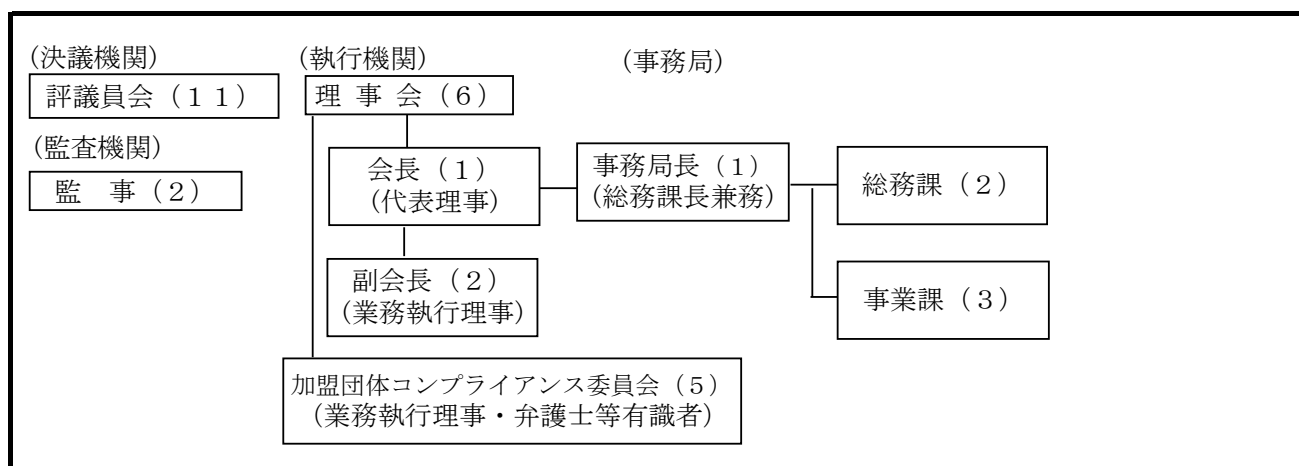
令和7年度 公益財団法人足立区スポーツ協会 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和8年5月1日現在

名 称	公益財団法人足立区スポーツ協会
所 在 地	足立区中央本町一丁目17番1号
設立年月日 公益認定	昭和23年 4月1日（平成2年1月25日財団法人化） 平成23年 4月1日公益財団法人化 令和 5年10月1日公益財団法人足立区体育協会から名称変更
代 表 者	会長 田中 ひろ子
職員数（実員）	常勤5名（派遣5名） 再任用1名 合計6名
基本財産	5億2,160万円（区出捐金：5億円/その他2,160万円）

2 組織機構図



3 令和7年度経営方針と重点事項

【経営方針】

◆スポーツ、レクリエーションの振興を図り、区民の心身の健康と、明るく豊かな生活形成に寄与すると共に、活力ある地域社会づくりに貢献する。

- （1）効果的な基本財産運用益の活用及び効率的な予算執行により安定した財務運営を図る。
- （2）スポーツカーニバル・リバーサイドウォーキング等の自主事業や補助事業に創意工夫を重ね活性化を図る。
- （3）各種媒体による加盟団体のPRを進め、加盟会員の増を目指す。
- （4）各加盟団体の組織力強化への支援、加盟団体の相互連携を進められるよう、体制を整備していく。

【重点事項】

- （1）指導者のパワハラ防止や組織内の不正会計等の防止のため、事例を交えた研修会を引き続き実施し、組織内に所属するすべてのチーム・選手・監督等関係者に対して、コンプライアンスの遵守を徹底していく。
⇒ 弁護士及びペップトーク（選手を鼓舞する言葉）の第一人者を招いた研修会を実施。それぞれ、103名と295名が参加。
- （2）パラスポーツへの理解をさらに深め、デフリンピックの機運醸成を図る。
⇒ デフリンピック機運醸成イベントを庁舎ホールで開催401名が参加。

4 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 公益目的事業会計

決算額（単位：円）				令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	増減(B-A)	
				37, 072, 234	38, 025, 916	953, 682	
主な内容				指標	令和 6 年度 実績(C)	令和 7 年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	スポーツ大会の開催	区民スポーツ大会	大会数	34 種目	33 種目	△ 1 種目	
			参加者数	10,648 人	9,227 人	△ 1,421 人	
			決算額	5,355,766 円	5,443,380 円	87,614 円	
		東京都スポーツ大会 足立区予選会	大会数	14 種目	12 種目	△ 2 種目	
			参加者数	3,161 人	3,250 人	89 人	
			決算額	387,284 円	592,975 円	205,691 円	
		墨東五区大会	大会数	3 種目	2 種目	△ 1 種目	
			参加者数	944 人	197 人	△ 747 人	
			決算額	1,954,462 円	613,353 円	△ 1,341,109 円	
	決算額計（単位:円）				7,697,512	6,649,708	△ 1,047,804
	【内容】 区内在住・在勤・在学の小学生から高齢者を対象に、自分に合った競技レベルの大会や上部大会を目指す方に機会を提供し、日頃よりスポーツ・レクリエーション活動に親しんでいる区民の競技力向上を図る。 【増減理由】 区民大会については、熱中症対策による夏季期間事業の陸上競技大会休止による約13%の競技者数減となった。 都大会予選会については、同様の理由により陸上競技予選会が休止となるとともに、弓道競技が参加者数の不足により大会が成立できなかったため大会数が減となった。一方で決算額については各競技共に消耗品費の増加に伴う増である。 墨東五区大会についても、熱中症対策に伴う夏季対策期間内開催予定の陸上競技大会中止による参加者数・決算額の減となっている（R6：卓球・空手・バレー→R7：柔道・陸上・駅伝）。						
イ	スポーツ教室・広場の実施	スポーツ教室	開催数	400 回	311 回	△ 89 回	
			参加者数	7,962 人	5,810 人	△ 2,152 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		スポーツ広場	開催数	516 回	715 回	199 回	
			参加者数	10,182 人	12,726 人	2,544 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		シニアスポーツ振興事業	開催数	11 回	10 回	△ 1 回	
			参加者数	117 人	183 人	66 人	
			決算額	195,116 円	420,723 円	225,607 円	
	決算額計（単位:円）				195,116	420,723	225,607
	【内容】 区民が気軽に参加できるスポーツ教室・広場を提供する。 ・スポーツ教室：幼児から高齢者まで年齢を問わず、初心者も気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室は年間を通じて実施する。 ・スポーツ広場：いつでも、だれでも、何回でも参加できるスポーツ広場は年間を通じて週1回程度開催している。 ・シニアスポーツ振興事業：シニア世代が参加できるスポーツ教室等を実施することで、高齢者の健康の維持・増進に寄与する。 【増減理由】 スポーツ教室の開催数・参加者数減については、千住温水プールの教室開催数の減少による。 シニアスポーツ振興事業拡大（R6：サッカー、ゲートボール、テニス、R7：サッカー、ゲートボール、テニス、ボウリング）のため、参加者数・決算額の増。						

ウ	指導者養成・育成及び紹介	指導者養成・育成	決算額	209,440円	943,189円	733,749円
		指導者紹介	紹介数	1人	1人	0人
			決算額	0円	0円	0円
		競技力向上	参加者数	333人	233人	△100人
			決算額	138,000円	132,000円	△6,000円
決算額（単位:円）			347,440	1,075,189	727,749	
【内容】 指導者養成・育成：地域スポーツにおける生涯スポーツの普及・振興と、公認スポーツ指導員の指導力を向上させる。 指導者紹介：上記指導員を各地域館のイベント等に紹介する。 競技力向上：各加盟団体において強化練習会等の競技スキル向上事業。 【増減理由】 指導者育成事業の中で、デフリンピック機運醸成イベントを実施したための経費の増。						
エ	顕彰事業	スポーツ協会顕彰事業 （大会成績優秀者）	受賞者数	23人	32人	9人
			受賞団体数	10団体	6団体	△4団体
			決算額	82,504円	58,914円	△23,590円
		奨励金事業	受賞者数	64人	38人	△26人
			受賞団体数	6団体	18団体	12団体
決算額	378,000円		287,000円	△91,000円		
決算額計（単位:円）			460,504	345,914	△114,590	
【内容】 スポーツ協会顕彰事業：オリンピック、国際大会、全国大会等最高レベルの大会へ出場資格を得た優秀な個人・団体を顕彰する。 奨励金事業：東京都大会以上の大会で3位以上の優秀な成績を収めた者を顕彰して、スポーツの発展と地域活動の促進に繋げる。 【増減理由】 奨励金事業（区補助金対象外）については要綱を改正し、奨励金額を細分化することで決算額を抑制することができた。						
オ	ジュニア育成	ジュニアスポーツ大会	参加者数	5,219人	4,404人	△815人
			決算額	2,008,700円	2,146,991円	138,291円
		ジュニア育成地域推進事業	参加者数	1,924人	1,643人	△281人
			決算額	4,286,721円	4,432,525円	145,804円
		決算額計（単位:円）			6,295,421	6,579,516
【内容】 ・ジュニアスポーツ大会：区内の少年・少女を対象として、各競技種目（15種目）の大会を開催し、地域社会の担い手を育成するとともに、日頃の練習成果を発揮する機会を提供する。 ・ジュニア育成地域推進事業：幼児から高校生、また初心者を対象として、競技力向上を目指す子ども達を育成し、競技スポーツの底辺拡充を図り、トップアスリートを育成する。 【増減理由】 ジュニアスポーツ大会については熱中症対策期間に開催していた陸上競技が中止になったため、参加者数が減となった。 ジュニア育成地域推進事業については、事業規模等変わらず開催できた。 決算額については、東京都助成基準の指導者謝金単価の増による増額となった。						

カ	各種大会選手派遣	東京都スポーツ大会 (春・夏・冬)	種目数	21 種目	21 種目	0 種目
			派遣者数	416 人	367 人	△ 49 人
			決算額	1,308,566 円	1,194,242 円	△ 114,324 円
		都民スポレクふれあい大会	種目数	3 種目	3 種目	0 種目
			派遣者数	92 人	67 人	△ 25 人
			決算額	91,000 円	67,000 円	△ 24,000 円
		スポーツフェスティバル東京（旧：都民生涯スポーツ大会）	種目数	11 種目	12 種目	1 種目
			派遣者数	148 人	144 人	△ 4 人
			決算額	150,512 円	144,000 円	△ 6,512 円
		墨東五区大会	種目数	10 種目	10 種目	0 種目
			派遣者数	950 人	957 人	7 人
			決算額	1,138,000 円	1,015,000 円	△ 123,000 円
	決算額（単位:円）			2,688,078	2,420,242	△ 267,836
	【内容】 東京都スポーツ大会、都民スポレクふれあい大会、スポーツフェスティバル東京、墨東五区各種大会への選手と大会運営役員の派遣に対して交通費の補助として派遣費を交付し、競技力の向上を図る。なお派遣費についてはスポーツ大会派遣補助基準に基づき支出する。 ・東京都スポーツ大会（23区内の会場は2,000円/日、三多摩及び関東地域の会場は3,000円/日、それ以外の会場は9,000円/日） ・都民スポレクふれあい大会・スポーツフェスティバル東京・墨東五区大会（いずれも1,000円/日） 【増減理由】 参加人数の減に伴う派遣費用の減。					

キ	リバーサイドウォーキング・スポーツカーニバル	スポーツカーニバル	参加者数	7,321 人	8,825 人	1,504 人
			決算額	3,199,245 円	4,793,031 円	1,593,786 円
		リバーサイドウォーキング	参加者数	270 人	300 人	30 人
			決算額	958,654 円	1,071,707 円	113,053 円
	決算額（単位:円）			4,157,899	5,864,738	1,706,839
	【内容】 ・スポーツカーニバル：毎年「スポーツの日」に、スポーツに馴染みのない区民と運動・スポーツの楽しさを共有し、生涯スポーツ社会を実現するための普及、啓発事業として開催している。子どもから高齢者までスポーツ・レクリエーション活動の場を提供すると共に、体力保持のきっかけづくり、自分にあったスポーツの日常化を促進することを目的としている。 ・リバーサイドウォーキング：区民のウォーキング愛好者から初心者を対象に、荒川河川敷虹の広場から扇大橋約9キロ、西新井橋間約4.5キロの周回コースを自然に親しみながら歩き、足立区を知る機会とウォーキングの楽しさを提供し、体力の増進を図る。 【増減理由】 R7年から、スポーツカーニバルを開会式と分け、より区民に近い地域体育施設を活用して実施したため、参加者数の増加につながった。 更に、デフリンピック啓発事業を実施したため、経費の増加につながった。					

ク	機関紙の発行	年間掲載回数	12 回	12 回	0 回
	決算額（単位:円）		5,836,332	5,268,264	△ 568,068
	【内容】 ホームページの運営や機関紙を発行し、各種スポーツ活動の情報を提供し、地域スポーツの振興と活動の情報を広く提供することにより底辺拡充とスポーツ振興の担い手を育成する。 また、各種大会について周知・PRに努めた。 【増減理由】 「トキメキ」の記事段数単価が一時的に下がったため決算額の減少につながった。				

ケ	公益目的事業共通	人件費	職員数	6 人	6 人	0 人
			決算額	5,386,360 円	5,875,523 円	489,163 円
		事務費（会計按分費等）	決算額	4,007,572 円	3,526,099 円	△ 481,473 円
	決算額（単位：円）			9,393,932	9,401,622	7,690
	【内容】					
	・人件費：会計年度職員の給料及び区派遣職員の共済負担金費用など ・事務費（会計按分費等）：協会運営のための事務費					

【増減理由】
人件費については、共済負担金割合の増
事務費については、経費の節減に努めた結果、12％の削減。

(2) 加盟団体助成事業会計

決算額（単位：円）				令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	増減(B-A)	
				2, 717, 051	2, 220, 433	△ 496, 618	
主な内容			指標	令和 6 年度 実績 (C)	令和 7 年度 実績 (D)	増減 (D-C)	
ア	加盟団体助成事業	加盟団体活動補助金 交付事業	助成団体数	33 団体	34 団体	1 団体	
			決算額	990, 000 円	1, 020, 000 円	30, 000 円	
		後援事業	後援数	186 事業	223 事業	37 事業	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		スポーツ協会顕彰事業 (役員等への顕彰)	被顕彰者数	12 人	11 人	△ 1 人	
			決算額	0 円	16, 291 円	16, 291 円	
		賀詞交換会	参加者数	57 人	64 人	7 人	
			決算額	285, 000 円	327, 225 円	42, 225 円	
		事務費等	決算額	1, 442, 051 円	856, 917 円	△ 585, 134 円	
		決算額（単位:円）			2, 717, 051	2, 220, 433	△ 496, 618
		【内容】 ・加盟団体活動補助金の支給：各団体につき一律3万円の支給 ・後援事業：区と共同で各加盟団体の自主大会等を後援する。 ・スポーツ協会顕彰事業（役員等への顕彰）：スポーツ協会の運営に多年にわたりご協力頂いた方への顕彰 ・賀詞交換会：毎年1月の初旬から中旬に開催。各加盟団体の会長等が出席。 出席者は全員一律5,000円の会費制とし、会費のみで運営をしている。 ・事務費（会計按分費等）：上記（1）ケを参照 【増減理由】 スポーツ協会顕彰事業については、R 7 協会常務理事に退任者がいたため記念品代の増 事務費については、熱中症対策物品の購入数の減により支出も減となった。 (R6：塩タブレット・スポットクーラーを購入、R7：アイススラリーを購入)					

(3) 法人会計

決算額（単位：円）				令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	増減 (B-A)	
				4, 192, 894	3, 363, 115	△ 829, 779	
主な内容				指標	令和 6 年度 実績 (C)	令和 7 年度 実績 (D)	増減 (D-C)
ア	法人会計	理事会	開催数	3 回	6 回	3 回	
			現員数	9 人	9 人	0 人	
		評議員会	開催数	2 回	2 回	0 回	
			現員数	12 人	12 人	0 人	
		経営部門会議	開催数	25 回	23 回	△ 2 回	
			現員数	40 人	40 人	0 人	
	決算額（単位:円）			4, 192, 894	3, 363, 115	△ 829, 779	
	【内容】 理事会及び評議員会開催及び法人に係る渉外経費及び協会運営にかかる経費（会計按分費も含む。）を計上。 経営部門会議：執行役員会、企画財務部会、事業部会、広報部会、指導普及部会、顕彰審査委員会 なお、R 7 年 6 月から部会名について企画財務部会、事業部会、研修運営部会、活動支援部会、顕彰審査委員会、コンプライアンス委員会となった。 【増減理由】 法人の運営費用について、弁護士相談費用の減により委託費分の減。						

5 収支決算（正味財産増減計算ベース）

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

単位：円

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

科 目		令和6年度 決算額 (A)	令和7年度 決算額 (B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
基本財産運用益					
基本財産受取利息	〈1〉	2,168,050	2,168,050	0	基本財産運用益
基本財産運用益計	〈2〉	2,168,050	2,168,050	0	
特定資産運用益					
特定資産利息収入	〈3〉	5,024	6,347	1,323	預金利息
特定資産運用益計	〈4〉	5,024	6,347	1,323	
受取会費					
加盟団体分担金収入	〈5〉	860,000	680,000	△ 180,000	34団体*2万円／新規加盟金20万円減
受取会費計	〈6〉	860,000	680,000	△ 180,000	
事業収益					
その他事業収入	〈7〉	339,000	380,000	41,000	
事業収益計	〈8〉	339,000	380,000	41,000	
受取補助金等					
区事業補助金収入	〈9〉	17,635,570	16,818,030	△ 817,540	墨東五区陸上大会中止による減
・スポーツ大会の開催	〈9-1〉	7,697,512	6,649,708	△ 1,047,804	
・指導者養成・育成及び紹介	〈9-2〉	209,440	773,189	563,749	
・ジュニア育成	〈9-3〉	2,008,700	2,146,991	138,291	
・各種大会派遣	〈9-4〉	2,640,558	2,420,242	△ 220,316	
・機関紙の発行	〈9-5〉	5,079,360	4,827,900	△ 251,460	
区運営補助金収入	〈10〉	13,034,163	12,144,723	△ 889,440	
・機関紙の発行	〈10-1〉	587,352	440,364	△ 146,988	
・公益目的事業共通	〈10-2〉	9,563,552	9,401,622	△ 161,930	
・加盟団体助成事業	〈10-3〉	356,259	41,467	△ 314,792	
・法人会計	〈10-4〉	2,527,000	2,261,270	△ 265,730	
都体育協会補助金収入	〈11〉	2,355,440	1,820,000	△ 535,440	熱中症対策事業返還金
都体協ジュニア育成事業補助金	〈12〉	4,286,721	4,432,525	145,804	
受取補助金等計	〈13〉	37,311,894	35,215,278	△ 2,096,616	
受取負担金					
受取負担金	〈14〉	2,070,000	4,147,000	2,077,000	スポーツカーニバル事業拡大（デフリンピック関連費）に伴う増
受取負担金計	〈15〉	2,070,000	4,147,000	2,077,000	
受取寄付金					
寄付金収入	〈16〉	0	0	0	
受取寄付金計	〈17〉	0	0	0	
雑収益					
受取利息	〈18〉	783	1,898	1,115	
雑収益	〈19〉	0	750,000	750,000	「トキメキ」再印刷費用負担に係る解決金
雑収益計	〈20〉	783	751,898	751,115	
経常収益計	〈21〉	42,754,751	43,348,573	593,822	

(2) 経常費用

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
事業費					
給料手当	<22>	0	0	0	
臨時雇賃金	<23>	567,807	788,400	220,593	
福利厚生費	<24>	4,966,667	5,186,578	219,911	
旅費交通費	<25>	783,552	883,608	100,056	
通信運搬費	<26>	685,925	634,605	△ 51,320	
消耗品費	<27>	3,760,852	2,444,148	△ 1,316,704	熱中症対策期間の大会未開催のための減
修繕費	<28>	576,070	288,750	△ 287,320	
印刷製本費	<29>	698,171	1,143,025	444,854	デフリンピック機運醸成イベントチラシ作成等に伴う増
燃料費	<30>	17,566	21,129	3,563	
会議費	<31>	285,000	320,000	35,000	
賃借料	<32>	1,564,010	1,918,124	354,114	プリンタ、パソコン新規賃借料の増
保険料	<33>	374,320	399,218	24,898	
諸謝金	<34>	545,850	1,151,468	605,618	
補助金	<35>	17,713,060	17,283,366	△ 429,694	墨東五区陸上大会中止による減
委託料	<36>	6,479,916	7,130,123	650,207	デフリンピック機運醸成イベント委託に伴う増
奨励金	<37>	378,000	287,000	△ 91,000	
手数料	<38>	264,777	282,427	17,650	
光熱水費	<39>	100,942	85,723	△ 15,219	
支払利息	<40>	0	0	0	
雑費	<41>	0	0	0	
租税公課	<42>	26,800	800	△ 26,000	
事業費計	<43>	39,789,285	40,248,492	459,207	
管理費	<44>				
役員報酬	<45>	40,000	40,000	0	
福利厚生費	<46>	253,954	481,713	227,759	派遣職員厚生費負担割合増に伴う増
旅費交通費	<47>	21,360	27,110	5,750	
通信運搬費	<48>	183,641	157,862	△ 25,779	
消耗品費	<49>	77,038	141,710	64,672	
修繕費	<50>	103,510	103,510	0	
印刷製本費	<51>	0	72,600	72,600	名入り封筒作成費
手数料	<52>	65,748	73,840	8,092	
光熱水費	<53>	5,312	8,479	3,167	
賃借料	<54>	165,000	75,240	△ 89,760	
保険料	<55>	316,625	402,780	86,155	
交際費	<56>	54,080	20,000	△ 34,080	
租税公課	<57>	13,800	12,400	△ 1,400	
委託料	<58>	2,673,026	1,533,871	△ 1,139,155	弁護士相談費用の減に伴う減
支払負担金	<59>	160,000	160,000	0	
雑費	<60>	59,800	52,000	△ 7,800	
管理費計	<61>	4,192,894	3,363,115	△ 829,779	
経常費用計	<62>	43,982,179	43,611,607	△ 370,572	
当期経常増減額	<63>	△ 1,227,428	△ 263,034	964,394	

2. 経常外増減の部

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
（1）経常外収益					
経常外収益計	〈64〉	0	0	0	
（2）経常外費用					
経常外費用計	〈65〉	0	0	0	
当期経常外増減	〈66〉	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減	〈67〉	△ 1,227,428	△ 263,034	964,394	
当期一般正味財産増減額	〈68〉	△ 1,227,428	△ 263,034	964,394	
一般正味財産期首残高	〈69〉	6,569,451	5,342,023	△ 1,227,428	
一般正味財産期末残高	〈70〉	5,342,023	5,078,989	△ 263,034	

II 指定正味財産増減の部

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
基本財産受取利息	〈71〉	2,168,050	2,168,050	0	
受取補助金等計	〈72〉	2,168,050	2,168,050	0	
指定正味財産からの振替					
一般正味財産への振替額	〈73〉	2,168,050	2,168,050	0	
指定正味財産からの振替計	〈74〉	2,168,050	2,168,050	0	
当期指定正味財産増減額	〈75〉	0	0	0	
指定正味財産期首残高	〈76〉	521,600,000	521,600,000	0	
指定正味財産期末残高	〈77〉	521,600,000	521,600,000	0	

III 正味財産期末残高

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
正味財産期末残高	〈78〉	526,942,023	526,678,989	△ 263,034	